

九州女子大学  
人間科学部 人間発達学科 人間基礎学専攻

令和2年度 一般推薦入学試験  
技能特待生入学試験  
小論文

九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 人間基礎学専攻  
令和二年度 一般推薦入学試験・技能特待生入学試験

小論文 試験問題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

敬語というのはそもそも「相手を敬う」、あるいは「私はあなたほどの立場の者ではないと謙遜する」、あるいは「丁寧な言葉を使うことで、その場に潤滑油を与える」ためにあると自覚し、使うべきものです。その気持ちさえ持っていれば、多少の間違いがあっても、相手は「間違った使い方をしているな」と思っても、おおかた、大目に見てくれます。まずこれが基本だと、私は理解しています。

ところが、それらの気持ちがないまま敬語を使うと、たとえ正しい敬語であっても、相手の怒りに触れることになりかねません。

たとえば「どうぞ、そちらにおかけください。お茶をお持ちしましたので、召し上がってください」という言葉。敬語の使い方を含めて、言葉遣いに間違いはありません。しかし、ムツとした表情で、つつけんどんな言われ方をしたら、誰でもいい気持ちはしませんよね。「なんだ、コイツ」と、内心では思ってしまうでしょう。

それなら、たとえ「どうぞ、そこに座られてください。お茶が入られました。遠慮しないで、どうぞ飲んでください」などと、敬語はメチャクチャでも、明るく、にこやかに言われたのなら、そのほうが印象はよほどいいものです。まあ、思わず失笑が漏れてしまうかもしれませんが。

そうして考えてみると、敬語の基本は「相手を思いやること」「相手に気を配ること」と言ってもいいでしょう。それが大前提なのですが、とはいえ、おかしい敬語が横行なまじしていて、気にもなりません。

出典 池上彰『伝える力2 もっと役立つ！「話す」「書く」「聞く」技術』、PHP研究所、二〇一二年

問一 本文の要旨を五〇字以内で述べなさい。

問二 「伝わるコミュニケーション」について、あなたの考えを六〇〇字以内で述べなさい。

九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 人間基礎学専攻  
令和二年度 一般推薦入学試験・技能特待生入学試験

小論文 解答用紙

縦書き

問一

5
10
15
20
25

受験番号

--

氏名

--

問二

5
10
15
20
25

600 500 400 300 200 100

得点

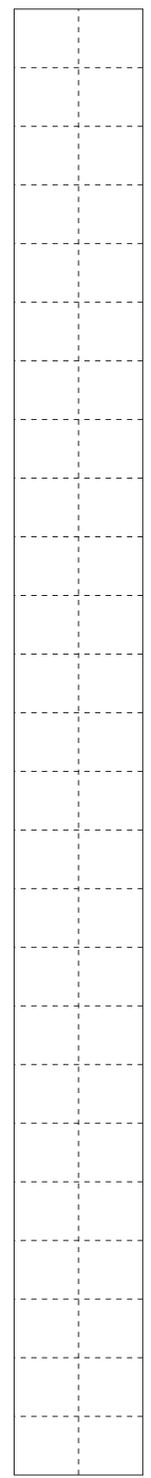
--

# メモ用紙

(※このメモ用紙はお持ち帰りください)

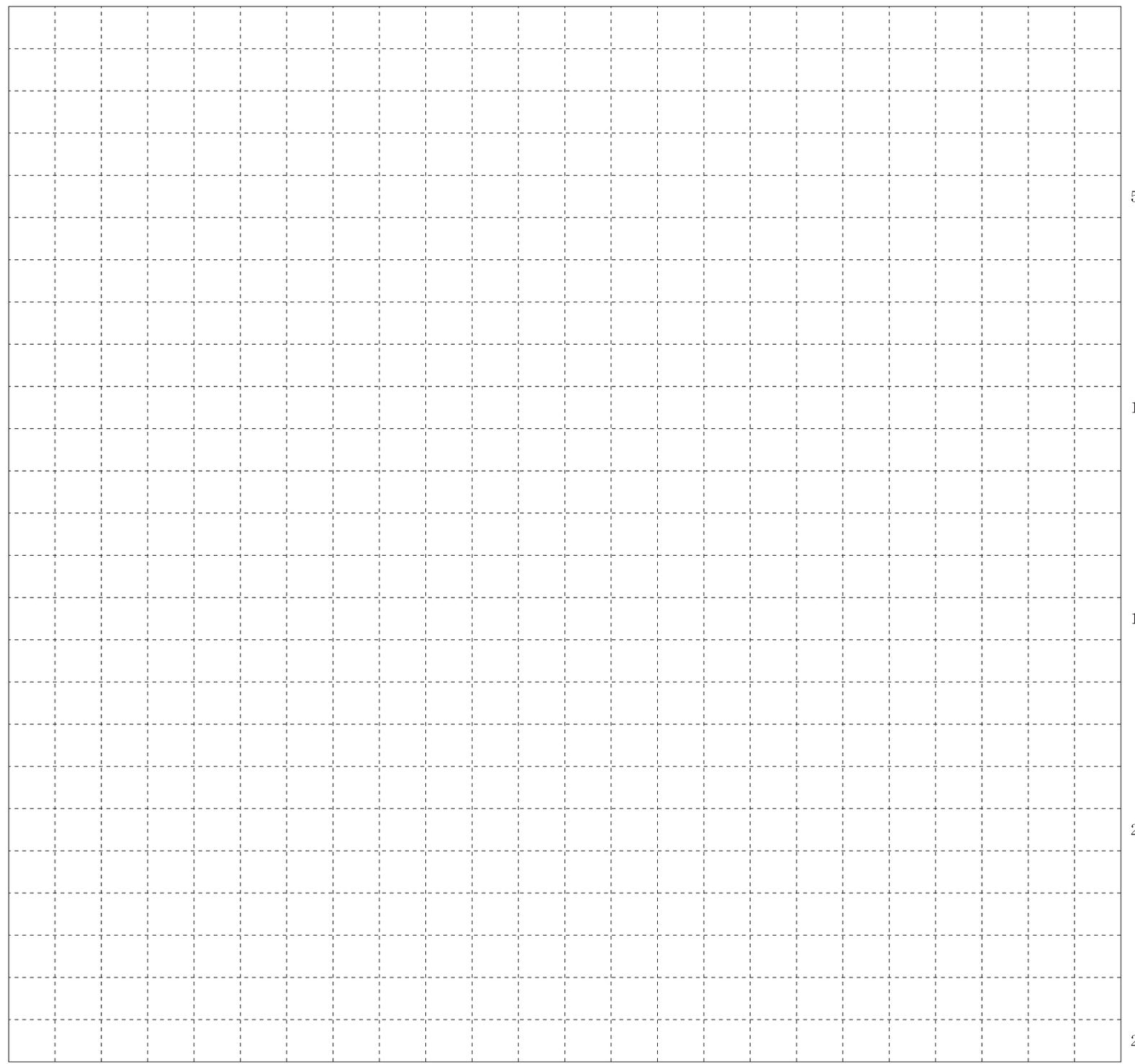
縦書き

問一



A vertical grid for question 1, consisting of 10 columns and 25 rows. The grid is defined by solid lines on the left and right sides, and dashed lines for the internal grid lines. The right edge of the grid is labeled with the numbers 5, 10, 15, 20, and 25 at regular intervals.

問二



A large horizontal grid for question 2, consisting of 25 columns and 25 rows. The grid is defined by solid lines on the top and bottom sides, and dashed lines for the internal grid lines. The bottom edge of the grid is labeled with the numbers 600, 500, 400, 300, 200, and 100 at regular intervals. The right edge of the grid is labeled with the numbers 5, 10, 15, 20, and 25 at regular intervals.